

わたしたちの県の地図を読み取ろう

都道府県の形と位置

4年社会科の都道府県の学習では、地図帳を活用し、形と位置を調べます。地図を読むときは、はじめに形と位置に注目することが大切です。都道府県の形がどのようなになっているか、そしてその中で山や川、市区町村がどこにあるか確認することで地図の読み取りが一層豊かになります。

形を見立てる

都道府県の形を見立てるのは、子どもにとって楽しい活動です。都道府県の形が何に見えるか想像してみましょう。地図帳（令和7年度版『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』）には「静岡県は金魚」の例が示してあります（**図1**）。子どもの発想を



図1 都道府県の名前と位置・形に注目 ②静岡県
令和7年度版『楽しく学ぶ 小学生の地図帳』p.128

生かして、さまざまな形に見立ててみるとイメージが広がります。次に、その形を活用して、**自分の住む市区町村や学習に登場する場所、都道府県庁所在地の位置などを確かめれば、位置関係が明確になります。**例えば静岡県を金魚の形に見立てたならば、県庁所在地の静岡市は金魚のおなかの辺りになり、形と位置が結び付くようにすれば、地図を読み取る技能が伸びていきます。

山と川から地形を読み取る

都道府県内の山と川を読み取ることによって、

大まかな地形を捉えることができます。静岡県では、静岡市の北にある赤石岳は、標高が3121mあります。この付近から大井川が南に向かって流れ、駿河湾に注ぎます。地図帳では、陸の高さが色分けされているので、静岡県は北が高く、南が低くなることが読み取れます。川の流れをたどることによって、**県の中でどこが高く、どこが低いかが明らかになります。**さらに、川がどこの海に流れ込むかを調べることによって、湾や灘など海の名前と広がりを読み取れます。

新幹線はのぞみ号に乗った気で

白地図に新幹線のルートをかき入れます。このとき、地図帳で指旅行をしてみます。西は愛知県との県境からスタートし、浜名湖、牧之原を経て、静岡市に着き、駿河湾に沿って東に進み、富士山のふもとを通過し、神奈川県との県境に至ります。実際に地図を指でたどりながら、のぞみ号に本当に乗っている気持ちになって、車窓から見えそうな景色を地図帳で探してみます。浜名湖の近くでは「北の方に湖、南に海が見える。」、牧之原を通過するときには「お茶畑が広がっているはずだ。」と想像し、**地図を読み取り、周囲の景色をイメージします。**

白地図に記入する学習に際して、見立てや指旅行などの活動を取り入れると、地図帳に親しみが持てるようになります。各都道府県でも同様の活動を取り入れて地図帳を活用してみましょう。



地図帳を読んで答えましょう

年 組 番
名前

- ① 静岡県の形は、何の形に見えますか。

解答例（金魚の形）

- ② 小学校のある市は、静岡県のどのあたりにありますか、①で答えた形を使って示しましょう。

解答例（伊豆市は、金魚の尾ひれのあたりにあります。）

- ③ 静岡県のとなりの県の名前を書きましょう。

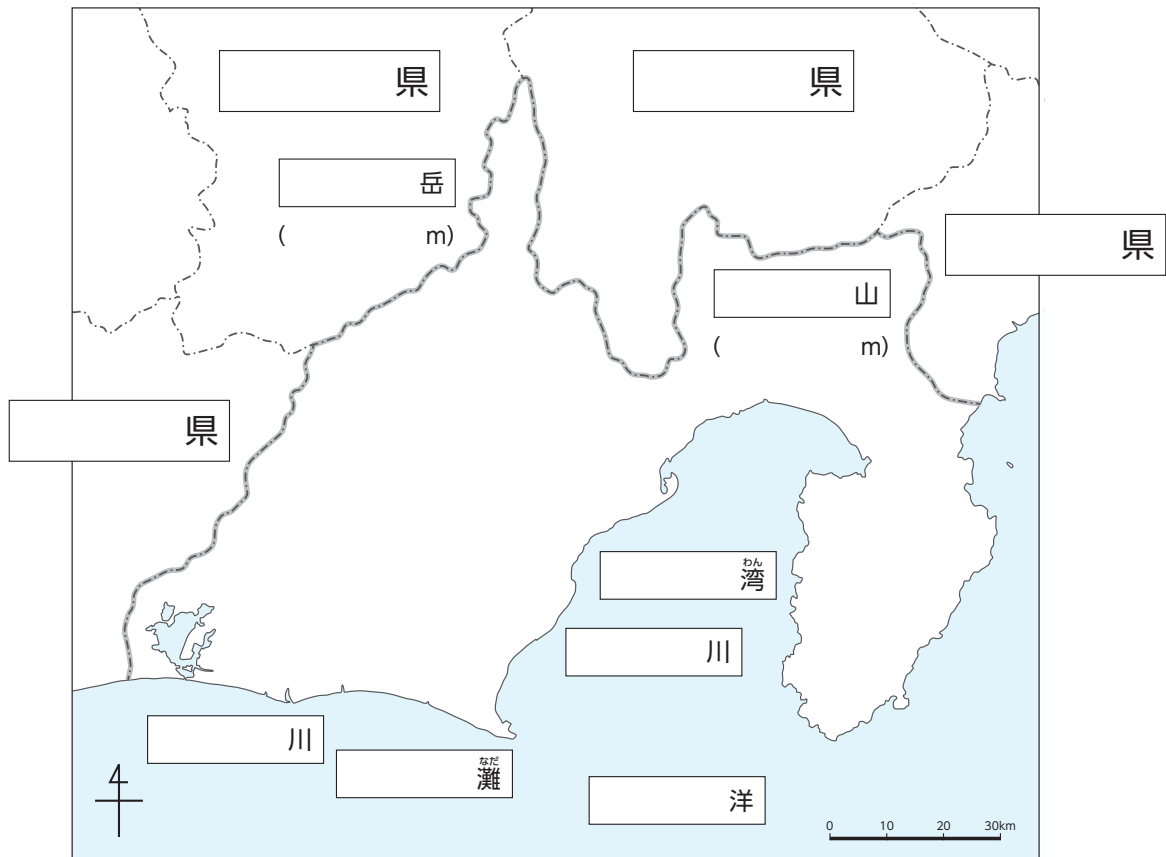
- ④ 静岡県の面している海の名前を書きましょう。

- ⑤ 静岡県にある山、富士山と赤石岳の位置に△を書いて、茶色にぬり、山の高さを書きましょう。

- ⑥ 静岡県を流れる川、天竜川と大井川のルートを水色でかき、川の名前を書きましょう。

- ⑦ 新幹線のルートをかきましょう。

- ⑧ いちご、みかん、お茶が育てられている場所に○を書き、いちごは赤、みかんはオレンジ、茶は緑でぬりましょう。



2025年9月作成

教授用資料 帝国書院

注目!

ワークシート「わたしたちの県の地図を読み取ろう」のA3判PDFデータを、
帝国書院ウェブサイトに掲載しています。ぜひダウンロードしてご活用ください。



Webサイトは
こちらから